

やまりん新聞

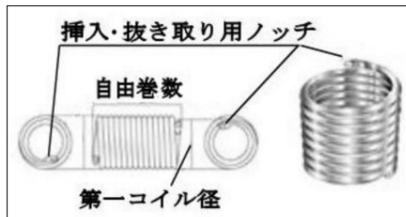


タングレスインサート

タングレスインサートとは一般的なインサートコイル(ヘリサート・スプリュー等)についているタング(取付時に回すための爪)がないインサートコイルの事です。



タングレスインサートは専用工具を使用することでタング無しで挿入・抜取が可能となり、施工後折れたタングが商品内部に混入することもありません。



従来品は1D、1.5D、2Dの三種類でしたが、M2.5~M10については今回新しく2.5Dと3Dが仲間入りしました。

タングレスインサートの特徴：

1. φ3mm以下のインサートでもタングレスならミスなく確

2. 挿入工具は電動式で非常に使いやすく設計されています。
3. 挿入工具はねじ式を採用しているため、挿入時のピッチ飛びが防



4. インサートの向きを気にせず、どちら側からでも挿入できます。
5. タングを折り取ったり、折ったタングを探した

区分	サイズ	呼び長さ	自由外径	適用ドリル径
メトリック並目	M2.5-0.45	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	3.20 ~ 3.40	2.6
	M3-0.5	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	3.80 ~ 4.35	3.1
	M4-0.7	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	5.05 ~ 5.60	4.2
	M5-0.8	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	6.20 ~ 6.80	5.2
	M6-1.0	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	7.40 ~ 7.95	6.3
	M8-1.25	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	9.80 ~ 10.35	8.4
	M10-1.5	1D, 1.5D, 2D, 2.5D, 3D	11.95 ~ 12.5	10.5
	M12-1.75	1D, 1.5D, 2D	14.30 ~ 15.00	12.5

り、ゲージ確認する必要がありません。

使用方法：

1. 従来のインサートについているタングの代わりにドライビングノッチ(返り)が付いています。このドライビングノッチを挿入工具の爪に引っ掛けて挿入します。
2. 挿入が終わると専用工具が自動的に逆回転し、爪がインサートから外れて専用工具の溝の中に収納されます。

詳細につきましてはお気軽に弊社営業担当までお問合せください。

ラチェットドライバ「ネジピタ」

1本でプラス溝とマイナス溝のほとんどのねじサイズを回せる便利なラチェットドライバをご紹介します。商品名：ラチェットドライバ ネジピタ

メーカー名：アネックス

品番：No. 290

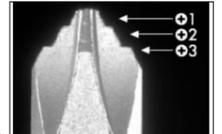
店頭価格：780円(税抜)

特長：

- 1本で+No.1 (M2) 、+No.2 (M3 ~M5) 、+No3 (M6~M8) と-6 (M3

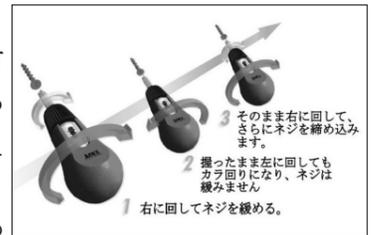


~M5) の4種類のねじが回せる特殊刃先形状のビットを使用しています。

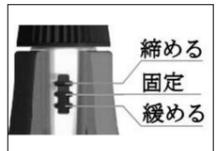


●グリップを握りなおさずに左右動作だけでねじの締め付け、ゆるめ作業ができます。

●市販されている対辺6.35六角ビットであればほとんど差替えて装着可能です。



●指先ひとつで「ゆるめる」「固定」「締める」を選択できる切り替えスイッチを採用しています。コンパクトなので、持ち歩きに便利です。ぜひお試しください。



ねじ径の変換

ねじは、外径やピッチがわずかに違っても”シッカリ”とねじ込まれません。ましてや、右ねじと左ねじの組合せや、インチねじとメートルねじでは、(左下へ)

(右上から) まったく噛み合わないケースが多々あります。

そんな場合、図1の ①変換ニップル、②変換アダプター、③変換ソケットを用いてねじの種類を変換し、”シッカリ”とねじ込ませることができます。

【表1】に従来、弊社に変換部品の照会をいただいたねじサイズの一例を示します。

もちろん、表記のサイズ以外でも対応可能です。材質は、流体用に使われる場合は、SUS304やSU S316が多く指定されます。

また、機械的な結合の場合は、センターの穴は開

けず、材質もS S400やS S45C等を指定されるケースが多いです。

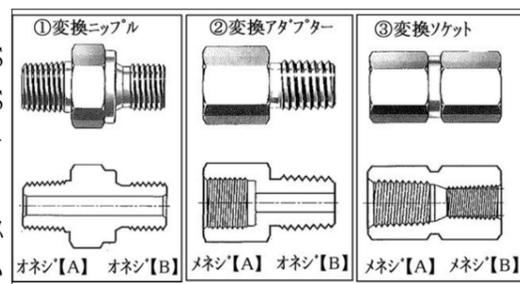


図1 ねじ径の変換例

お客様にてねじサイズが特定できない場合は、【A】と【B】の部品をお預かりして、採寸の上、両者のねじサイズに適合した変換部品をご提供さ

表1 変換ネジ径の例

変換のねじ種類	①変換ニップルのねじ径例		②変換アダプターのねじ径例		③変換ソケットのねじ径例	
	ねじ【A】	ねじ【B】	ねじ【A】	ねじ【B】	ねじ【A】	ねじ【B】
メートルねじのサイズ・ピッチ変換	M10 P=1.25	M8 P=1.0	M10 P=1.25	M8 P=1.0	M10 P=1.25	M8 P=1.0
ウィットねじからメートルねじへ変換	W1/2	M7, P=1.0	W1/2	M7, P=1.0	W1/2	M7, P=1.0
ウィットねじからUNC/UNFへ変換	W3/8	UNC1/4	W3/8	UNF1/4	W3/8	UNF1/4
UNCからUNF(細目)へ変換	UNC1/2	UNF1/2	UNC1/2	UNF1/2	UNC1/2	UNF1/2
UNC/UNFからメートルねじへ変換	UNC1/2	M10, P=1.25	UNF1/2	M10, P=1.25	UNC1/2	M10, P=1.25
管用ねじのサイズ/種類の変換	R3/8	G1/4	Rc3/8	G1/4	Rc1/2	Rc3/8
管用ねじからNPT(米国規格)へ変換	R3/8	NPT1/4	Rc3/8	NPT1/4	Rc3/8	NPT1/4

せていただきます。

ねじが合わなくてお困りの時は、お気軽に弊社にご相談ください。

ねじの雑学

ねじの形式に関するJIS規格でよく知られているものには、一般用メートルねじ(JIS B 0205)、エファイ並目ねじ(JIS B 0206)、エファイ細目ねじ(JIS B 0208)、メートル台形ねじ(JIS B 0216)などがあります。

これ以外に古くからある、あまり知られていない規格がないかを、いつものように、1972年版のJISハンドブックで調べてみました。

その中に、自転車ねじ(JIS B 0225)というのがありました。適用範囲は「自転車およびリヤカーその他これに準ずるものに用いる」とあります。自転車ねじは、一般用とスポーツ用の2種類があり基準山形は共通です。

一般用ではBC5/16(前ハブ軸)、BC7/16(重荷用後ハブ軸)、BC1/2(ペダル軸)などがあり、

スポーツ用はBC2(実用車用)、BC2.6(リヤカー用および重荷用)などがあります。

なおJIS B 0225は自転車ねじとして現在でも継続中のようです。

変わったところでは、シソ用ねじ(JIS B 0226)というのがありました。適用範囲は文字通り「シソに用いるねじ」ということです。呼び方はSM1/8、SM1/4等となります。JIS B 0226は現在では廃止されているのか、ネットのJISCサイトでJIS検索しても検索できませんでした。

ちなみに上記、自転車用ねじ、シソ用ねじは共に弊社では入手できませんので、恐れ入りますが、専門店へ問い合わせをお願い致します。

余談ですが、1972年版のJISでは、ねじのことを「ねじ」とカタカナで表記し、新しいJISでは「ねじ」とひらがなで表記しています。いつから変わったのか? 「ねじ」が外来語ではないからか? など、つまらない疑問が湧いてきましたので、ネットで調べていますが、未だ結論には至っていません。

ご意見、ご不明点等ございましたら下記までお願いいたします。